

2017年度は2つの公演の主催、開発した教材の現場での使用等充実した活動を行いました。「むすびの会さんならではの」との言葉を頂く機会も出てきました。今後も日本の文化の魅力を伝え、日本文化のファンを増やすことにつながる活動を行って参ります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



出演

- ジャズシンガー さがゆき ○司会 武山佳世
- 文楽 竹本津駒太夫・鶴澤寛太郎・吉田勘彌・吉田簀紫郎・桐竹勘次郎
- 狂言 山本東次郎(人間国宝)、山本則重、山本則秀、山本凜太郎



事業報告書より

観客 156名のうちアンケート回答者は 49 名の 31%で、そのうち満足とやや満足を含めた回答率は 90%でした。また回答者のうち 63%が自由記述に記述しており「貴重な機会」「次回を期待」などの言葉が並びました。取材に来ていた音楽之友社『教育音楽 小学版』のライターからは「音楽教師にとってどのように声を出すことを教育するかという大きな課題に沢山のヒントを頂戴した」との感想を頂きました。

◆声のわざ体験公演
伝統芸能各分野の「声のわざを体験しよう」と題した公演が二十七日午後一時半から、東京都港区の練仙会能楽研修所で開かれる。狂言や文楽など実演家の発声と表現方法の違いを比較する企画のほか、観客も発声に挑戦するコーナーも。



参加者からの感想

「いやあ！大変贅沢な体験をさせていただきました！これは凄い。泣いたり笑ったりの二時間。ほんとに素晴らしい企画、ありがとうございました！」ラジオ番組プロデューサー / 「日本の文化では、天性の物で勝負しないという東次郎先生のお話が新鮮で、日本文化っていいなと思った」音大生・青学能楽会学生

東京新聞 2018.2.16 朝刊 『教育音楽』5月号音楽之友社

8. 会員動向

当会設立以来理事を務めて頂いている能楽小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎先生が20017年7月21日 人間国宝に認定されました。誠にありがとうございます！！

発行 2018年4月 特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会
〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-12-14-207 <http://www.musubinokai.org>

日本舞踊 素踊りの魅力

西川祐子
日本舞踊家
むすびの会 理事



むすびの会主催 日舞体験教室より

日本舞踊には、一般に知られている歌舞伎舞踊のほかに、素踊りと云う表現があります。歌舞伎舞踊は大道具や小道具、衣装等も含め、華やかな表現、それに対し素踊りは舞踊家の身体表現を中心に最小限の仕度で観客と向かい合う飾りの取れた表現となります。私達、日本舞踊家は、素養として幼少期から古典である歌舞伎舞踊を師から習い、舞台にもかけて自らの芸を磨いてゆきますが、歌舞伎役者の踊る歌舞伎舞踊のほうが魅力的な事が多々あります。残念ながら舞踊家は、役者に比べ圧倒的に華やかな舞台に立つ機会が少ない。その為身につく芸風が異なるのだと思います。日本舞踊家が身にまとう芸風は、自らの修練の場で有り後進指導の場でもある稽古場のピリッと清涼な空気感や他分野の舞踊との共通項でもある踊る為の呼吸や身体作りから生まれる、きめ細やかでスッキリした動きではないでしょうか。

長谷川等伯という絵師の松林図屏風は黒一色の濃淡で描かれ色彩の華やかさは全く無く、構図も松が臙気な在る様な淋し気な作品ですが、描かれていない海辺の湿度や潮風の厳しさを観るものに想像させる。研ぎ澄ました余白の美。日本舞踊の素踊りにも同じ様な魅力が有ると思います。しかし乍ら一つ間違うと、舞う側の経済的な理由(?)と思われかねない事も事実です。

日本舞踊家として私の目指す所は、豊かな余白の美しさです。一期一会の舞台を大切に踏んでゆこうと思います。

活動報告

1. 通常総会 (参加者 15名)

2017.6.18(日) 13:00~13:40 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 17F
第15回通常総会が行われました。詳細は議事録(昨年発送)の通りです。

2. 講座主催 (参加者 31名)

2017.6.18(日) 13:45~16:00 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 17F

共催：明治大学身体コミュニケーション研究所

講座①「台湾における舞踊教育の現状と課題」

富燦霞(明治大学アジア太平洋フォーミング・アーツ研究所 研究推進員)

講座②「イギリスで発祥したコミュニティダンス：ダンスの新しい活用の形」

稲田奈緒美(舞踊評論家)

講座③「むすびの会作成 日本の動きを取り入れたひふみ体操の指導報告」

小田ひとみ(東京経営短期大学准教授)

村松知香(文教大学付属小学校教諭)

森田ゆい(明治大学研究推進員/NPO むすびの会 事務局長)



参加者からの感想

海外での舞踊の情報
ひふみ体操の体験も楽しくかつ、実際にやると難しいことも分かり
充実した講座でした。

事務局より

台湾での舞踊教育の現状に始まり、イギリスで発祥したダンスを用いて社会的なコミュニティを形成しようとする試みの紹介。ひふみ体操では、昨年度の発表後に「体験したかった」との声を聞き、指導報告の後で体験指導を行いました。多くのコメントや質問で大変盛り上がる講座となりました。「楽しい」「以外とハード」等の言葉が聞かれました。

事業報告書より

観客 160 名のうち約 20 名は舞踊評論家などの専門家でした。専門家からも一般の観客からも「楽しかった」「扇を通して文化の背景が分かるようで興味深かった」等の肯定的な感想を多く頂きました。

韓国舞踊と日本舞踊・琉球舞踊の扇を観客人数分用意し、実際に一人ひとり手に取って頂きワークショップを行いました。体験を行うことで舞台鑑賞により魅力を感じて貰える事が出来たように理解しています。



参加者からの感想
「前回よりもぐんと全てがレベルアップしていた。レクチャーも前回より3つが連動していた上、実演とも連動して理解が進んだ。何より体験があったのも楽しめた。舞踊家もとてもお上手だった」



2) 声のわざを体験しよう

2018.2.27 鏡仙会能楽研修所 観客動員数 156名

公演内容

1. 発声をテーマとしたクロストーク
2. ジャズボーカル・義太夫・狂言小謡のワークショップ
3. 文楽、小舞の鑑賞
4. 山本東次郎先生による日本文化のお話

6. 後援名義使用

- 1) わざをぎ本公演 第一回紫鳳会 2017.10.29 日本橋公会堂
- 2) 足利織姫神社遷宮八十周年記念事業 あしかが子ども歌舞伎等 2017.11.3 足利織姫神社神楽殿



事務局より

会員の方でむすびの会に後援名義の使用希望の方は、事務局までお問合せ下さいませ。

7. 公演主催

伝統芸能コトハジメ 2018

助成：アーツカウンシル東京（公益社団法人東京都歴史文化財団）

- 1) 日韓交流レクチャー公演 韓国と日本の舞踊にみる“扇” 2018.2.23 明治大学駿河台キャンパス リバティホール 観客動員数 160名
主催：NPO 法人日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会
明治大学大学院情報コミュニケーション研究科・学部/明治大学研究・知財戦略機構アジア太平洋パフォーミング・アーツ研究所<RIAPPA>
成均館大学大学院芸術学研究科・芸術学部

公演内容

1. 韓国舞踊・琉球舞踊・日本舞踊における扇の扱いのレクチャーと実演
2. 扇を使ったワークショップ
3. 日韓(韓国舞踊・琉球舞踊・日本舞踊)合同作品披露

出演

○韓国舞踊
田銀子/成均館大学大学院芸術学研究科・芸術学部舞踊学科学生

○日本舞踊

西川祐子・藤間大智・藤間加賀美

○琉球舞踊

志田真木・波照間永子・前田恵

◇合同作品『雪月風花』 構成原案：波照間永子 総合監修・演出：志田房子

3. 指導者紹介支援事業

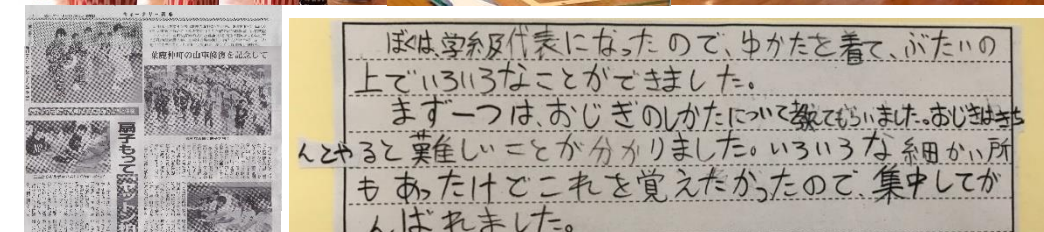
- 1) 留学生への浴衣着付け指導 2017.6.8 明治大学（タイとラオスからの短期留学生 17名）
講師：宮本恵美子(着付け講師)



事務局より

日本人学生のお手伝いも頂き皆で浴衣姿を楽しんでいました。記念撮影がととても楽しそうでした。

- 2) 地元こども歌舞伎啓発の為の歌舞伎講座 2017.6.21 足利市立葉鹿小学校（小学6年生 33名）
講師：西川祐子(日本舞踊家 西川流)



ウィークリー両毛 2017.7.5

事務局より

あしかがこども歌舞伎公演に先立ち、地元の小学校で歌舞伎舞踊の講座を行いました。地元のケーブルテレビ、地元の新聞の取材も入り、子ども達も張り切って体験や鑑賞を楽しみました。

- 3) 江戸しぐさ体験学習～やってみよう！江戸しぐさ 2017.7.5 大田区立調布大塚小学校（1-2年, 3-4年, 5-6年 合計 286名）
講師：山内あやり, 芥川友慈(一社)芝三光の江戸しぐさ振興会)



事務局より

江戸時代の庶民の暮らしのお話、地方から出て来た人達が狭い空間で仲良く暮らしていく為の知恵として江戸しぐさが機能していたお話と実演指導が行われました。子ども達の感想では、教えてもらった所作を「登下校で使います」と書く子どもが沢山いて、普段の生活に活かそうとする心が伝わりました。

4) 着物の基礎知識

2017.7.20 学習院女子大学 (和の身体技法授業受講者 42名)

講師：宮本恵美子(着付け講師)



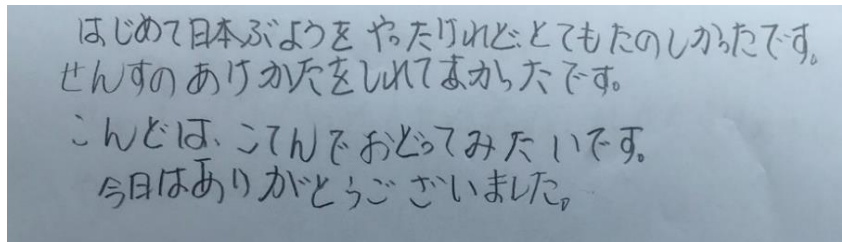
事務局より

着物を初めて近くで見たという学生さんが沢山いらして、それぞれに着物に対する興味を深めていました。宮本先生による海外で着物を着た時の国による反応の違い、フランスでは動作に対して「エレガント」アメリカでは見た目に対して「ゴージャス」と言われることが多いというお話も興味深かったです。

5) お扇子で踊ってみよう 日本舞踊

2017.7.24 大田区立嶺町小学校 夏休みスクール (参加者 14名)

講師：藤間加賀美(日本舞踊家 かがみ会主宰)



事務局より

扇の扱いを丁寧にいきディズニーの音楽で踊りました。通常は長唄に合わせて踊るという事を聞いた子ども達が、次回は古典で踊りたいと言ってくれました。

5. イベント主催

1) 文楽鑑賞+バックステージ見学+吉田勘彌先生(人形遣い)による解説
2017.5.13, 9.2, 12.16, 2018.2.11(東京公演全4回) (参加者人数合計 63名)



事務局より

開演直前や直後に楽屋や国立劇場の会議室を訪問し、人形遣いの吉田勘彌先生から解説を頂きます。舞台袖に準備された主遣いの高下駄や登場前後の人形、そして出演者の皆さんを間近に見る事も出来、文楽の世界を垣間見られる機会です。

2) 茶の湯サロン

2017.4.9(テーマ：竹で作られたお道具 薄茶を点てる), 7.2(涼を楽しむ 薄茶を点てる), 11.18(茶会を楽しむ), 2.24(初釜) 全4回 (参加者4回合計 24名)
講師：中澤宗寿(表千家茶道講師) 大田区内中澤先生ご自宅茶室



参加者より

毎回季節に合わせた室礼の中で皆さんと楽しくお茶を頂いています。茶道は初心者の方ばかりの集まりです。とても楽しいサロンです。新メンバー大歓迎です!

3) 茶道部 活動/毎月1回 現在部員4名

講師：中澤宗寿(表千家茶道講師) 中澤先生ご自宅茶室



部員より

4年目の活動に入り、珍しいお点前を体験させて頂く回も出てきました。日常から離れ、しばし異なる世界のタイムトリップを楽しませて頂いています。

- 1) 大田区立嶺町小学校 夏休みスクール ひふみ体操 2017.8.2
講師：神崎貴乃介 (希望者 5 名)
- 2) 山梨大学教育学部 平成 29 年度教員免許更新講座
「身体表現・ダンス教育・養生学のための基礎理論とそのスキル」
2017.8.22 講師：木村はるみ (参加者 50 名)
- 3) 栃木県足利市 足利織姫神社遷宮八十周年記念行事
ひふみ体操講座 2017.11.3
講師：西川祐子 (参加者約 60 名)
- 4) 田園調布ナーサリー 日本舞踊体験 2017.12.8
講師：神崎貴乃介 (年中 11、年長 19 名)
- 5) 調布大塚小学校 歌舞伎講座での体験指導 2018.2.20
講師：わざをぎ (全学年 286 名)



2) 伝統文化教育「伝統芸能に学ぶ(狂言・日本舞踊・バレエ)」

- 1) 2017.8.30 文教大学付属小学校 父母の会教育振興事業 (全学年 288 名)
講師：狂言 山本則孝 (狂言役者 大蔵流山本家)
日本舞踊 藤間加賀美 (日本舞踊家 かがみ会主宰)
バレエ 川上愛以 (バレリーナ 井上バレエ団所属)
解説 森田ゆい (伝統芸能研究家)



教員からの報告

なかなか狂言と日本舞踊、バレエを一度に比べて観る機会はないので、とても貴重な機会を頂きました。体験があったことで子ども達も張り切っていました。

- 6) 手品・民俗芸能の鑑賞と玉すだれ体験
2017.7.27 大田区立松仙小学校, 調布大塚小学校 夏休みスクール (14, 15 名)
講師：大和廣 他 (喜らく芸能座)



保護者より

ひょっとこ踊りが楽しかったです。玉すだれの体験が楽しかったようで、子どもに玉すだれを購入して欲しいと頼まれました。

- 7) 三味線と一緒にうさぎうさぎを歌ってみよう！弾いてみよう！
2017.7.28 大田区立田園調布小学校, 調布大塚小学校 夏休みスクール (25, 25 名)
講師：杵屋勝代 (長唄三味線杵勝会 参与) 他



参加者より

うさぎうさぎを最後まで弾く事が出来てとても嬉しかった。(小学5年生)

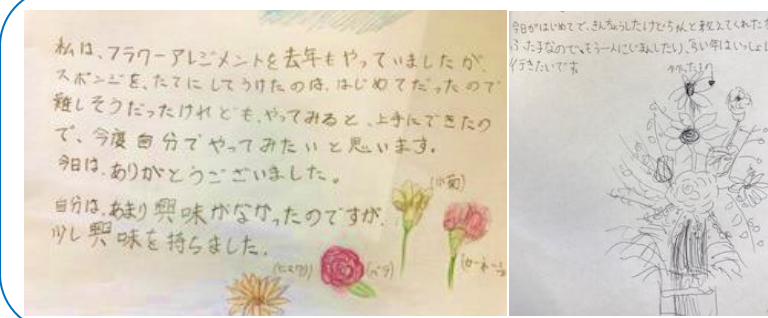
- 8) わくわく日本舞踊体験
2017.7.28 大田区立調布大塚小学校 夏休みスクール (13 名)
講師：藤間卯京 (藤間流師範)



参加者より

さくらさくらの音楽で踊りました。友達と浴衣を着て踊るのが楽しかった。上手に出来ました。(小学2年生3人より)

- 9) お花を使ったワークショップ
2017.7.31 大田区立松仙小学校, 雪谷小学校 夏休みスクール (33 名, 22 名)
講師：阪本澄 (生け花 真池坊家元) 他



事務局より

各自の作成したお花を世界地図に見立て世界に花があふれるようにと皆で願いました。

10) 日本舞踊って難しいの？

2017.9.16 横浜市立市ヶ尾中学校 交流会 (希望者 12名)

講師：藤間多京(日本舞踊家 希京会主宰) 指導補助：藤間京綾、藤間京泉、佐藤珠穂



生徒さんからの感想

浴衣を着付けてくださったり、日本舞踊で使う小道具に触らせてくださったりと、初めての体験ばかりでとても楽しかったです。私が一番楽しかったことは「さくらさくら」の音楽に合わせて踊ることです。手を上げる仕草一つでも、指をピシッと合わせたり、手を上げた方向を見つめたりと、美しく見せるための工夫があることに驚きました。また、周りの人と心を一つにしてあわせて踊るのが難しかったです。私は講座を受けるまで、日本舞踊って堅苦しいし、難しそうだなと思っていました。実際体験してみると、浴衣の片付けにも細かいいきまりがあったり、普段と違うステップで動いて幼い子を表現したりと、とても難しかったです。しかし、先生方が優しく教えてくださったことで、難しさ以上の美しさや、楽しさに気づくことができました。本当にありがとうございました。(3年女子)



11) 日韓交流イベント(明治大学情報コミュニケーション学部と韓国成均館大学芸術学部の交流会) 着付けサポート
2017.12.9 明治大学情報コミュニケーション学部
波照間研究室 (5名)



講師：宮本恵美子(着付け講師)

事務局より

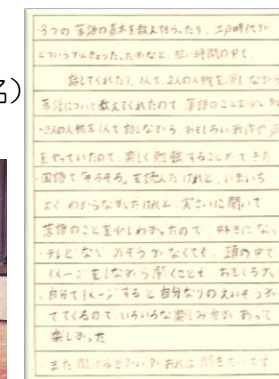
日本側からの発表は音楽、芝居、踊りと多岐にわたっていました。桃太郎を元に作成された芝居「月と太陽の桃太郎」では、登場人物に韓国の人を出演させる工夫も見られ、芸能を通しての交流がとても充実していました。

韓国側からは様々なダンスの発表が続きました。

12) 落語についてのお話と落語鑑賞

2018.2.2 千葉県浦安市立見明川小学校 (4年生 83名)

講師：三遊亭円左衛門(落語家 真打)



保護者からの報告

子ども達がだんだんと落語の世界に引き込まれて笑いが自然と出てくる様子がとても良かったです。話の流れ、落語、素晴らしかったです。

着物などの説明から入り、子ども達の目線でとても分かりやすい導入です。子ども達を引き付けてくださり有難いと思いました。親もとても楽しめました。

4. 研究・調査活動事業 【オリジナル教材】

1) ひふみ体操の指導

昨年度、ひふみ体操の伴奏音楽を、わざをぎさんが和楽器で作成してくださいました。様々な楽器を用いて楽しい楽曲になりました。むすびの会HPからダウンロードできますので是非聴いてください。どなたでもご自由に使用できます！

事務局より

昨年度は5つの機会に教材使用を頂きました。この体操は日本舞踊の基本動作が多く含まれますが、着物を着なくても出来る為、便利に使用されています。